

花祭

毎年11月から1月にかけて町内10地区で開催されます。

悪霊を払い除け、神人和合、五穀豊穣、無病息災を祈る目的で、鎌倉時代から代々親から子、子から孫へと伝承されてきた神事芸能です。国の重要無形民俗文化財（昭和51年）に指定されています。

およそ40種類にも及ぶ舞が夜を徹して行われ、訪れた観衆と舞手とが一体になり「てーほへ、てほへ」の掛け声と共に盛り上がります。

花祭特集ページ

東栄町のご当地グルメやお土産が楽しめる！

お土産

- 設楽保護区保護司会
- 人権擁護委員連合会
- 社会福祉法人 東栄町社会福祉協議会
- 奥三河自然子育て 森のこびとたち
- 東栄まゆ花会
- もとの店
- シンプルプラス
- ベスの店
- yamadasan
- mamitta
- 三河オートビレッジ
- 杏の家
- jimmyべんとう
- ピッコロパン屋
- 古民家ダイナー月猿虎
- (有)志多ら
- 東栄まちづくり倶楽部
- チェンソーアートクラブ東栄
- 東栄町森林組合
- フォレスト東栄
- とうえい温泉花まつりの湯
- 株式会社加納製作所
- TOM

フード&キッチンカー

- まちの縁側ぽたび
- NPO法人 愛猟
- シルバーかあちゃんの店
- 千代姫荘
- 振草農産物直売所
- cafeのっきい
- まごころ
- 姫's　Kitchen
- 振草川漁業協同組合
- 東栄町商工会
- 東栄町商工会女性部
- 株式会社モトムラ　東宝苑
- 横浜中華街　富貴包子楼
- 有馬商店
- 愛三協和協同組合
- peco riz
- 粟代製材所
- キッチンだのん
- T'smile
- きゃんぱす
- 三代目ちゃ銀
- 名古屋たこ焼き〜喜蛸〜
- 39フーズ
- Haylover Kitchen
- CREPE ZURI



花祭 体験コーナー

舞の実演を見るだけでなく、実際に手で触れて花祭の一部を体験できるブースを用意します。実際に祭りに携わる若手の話や素朴な質問や困りごとも受け付けます。

お問合せ　東栄町観光まちづくり協会
TEL 0536-76-1780

花祭会館

鬼面や衣装、映像の他、国登録民俗文化財の「大入の花祭用具及び関連資料」をはじめとした貴重な資料が展示されています。

お問合せ　東栄グリーンハウス
TEL 0536-76-1266



小林花祭保存会 | 開始時刻 | 12:25〜

小林保存会は、戸数20戸の集落の住民を中心に、外部からも多くの協力者の支援の下、千古変わらず花祭を継承しています。その昔小林では2カ所に分かれて花祭が伝承されていた記録もあります。のちに統合し、現在の形態になりますが、その名残で登場する役鬼の数も多く、それぞれに由緒ある名前もついており、歴史を遡って非常に興味深いものがあります。

実演演目　地固め、鳳来寺鬼、四つ舞



鳳来寺鬼



四つ舞

月花祭保存会 | 開始時刻 | 14:45〜

月の花祭では、舞庭に入ると天井を埋め尽くす圧倒的な数の湯蓋に目を奪われます。伝統を崩さず、古式を尊ぶ神事の厳格さに定評があり、刀立てや願主舞も丁寧に行われ、また、竈に初めて点ける火を切り火（火打石による火）で行うのは、この地区だけの特色です。「榊鬼の庭入り」という特色ある次第があり、4年に一度の閏年には御殿山中腹の槻神社で舞った榊鬼が、歩いて花宿に入る場面もあります。

実演演目　花の舞、榊鬼、湯ばやし



榊鬼



湯ばやし

和太鼓 志多ら（しだら）

| 演奏 | 13:25〜　東栄町を拠点に活動するプロの創作和太鼓集団。奥三河の豊かな自然や伝統文化からインスピレーションを受け、溢れる命の力を表現。地域に根を張りながら、全国へ心揺さぶる圧倒的なステージを届けています。

